

| | | | | | |
|--|------------|----------------------|-------------|-------------|---------|
| 2014-B | | | | | |
| 拠出金・基金の名称 | | 国連世界食糧計画拠出金 | | | |
| 種別 | | イヤーマーク 〃・イヤーマーク | | | |
| 【拠出先の国際機関名】国連世界食糧計画(WFP) | | | | | |
| 【所管官庁担当局課・室名】外務省 国際協力局 緊急・人道支援課 | | | | | |
| 【当該任意拠出金の目的・用途等】 WFPの事業(食料支援等)に対する拠出。 | | | | | |
| 【最近3年間の我が国支払額及びODA率】 | | | | | |
| 単位 | 邦貨 (千円) | 外貨1 (千ドル) | 外貨2 (千) | レート | ODA率(%) |
| 平成26年度 | 12,486,305 | 128,725 | - | 1(通貨) = 97円 | 100 |
| 平成25年度 | 7,832,955 | 95,524 | - | 1(通貨) = 82円 | 100 |
| 平成24年度 | 11,981,643 | 147,922 | - | 1(通貨) = 81円 | 100 |
| 【当該任意拠出金等の意義、成果等に関する我が国としての評価】 | | | | | |
| <p>WFPは食料支援を実施する国連で唯一の機関であり、主に食料を通じて緊急人道支援及び開発の双方において活動。2014年には世界82カ国、およそ8,000万人に対し約308万トンの食料支援を実施。1,030万人の子供や妊産婦等の栄養改善が図られたほか、1,700万人の子どもに対する学校給食の提供、4,270万人の脆弱な人々に対する緊急食料支援の実施等の成果を挙げた。飢餓は途上国において死亡の主たる要因の一つであり、人道支援の観点から最重要課題の一つであることから、我が国はWFPの活動を高く評価し、積極的に貢献してきた。</p> <p>2014年度の拠出においては、情勢の悪化や自然災害の影響を受けた地域(シリア及び周辺国、エボラ出血熱の影響を受けた中西部アフリカ地域、南スーダン及び周辺国等)におけるWFPの活動を支援し、子供や女性を中心とした被災者に対する食料配布、学校給食、労働の対価としての食料配布などが実施された。これらは我が国が重視する人間の安全保障の実現や女性支援に貢献するものであり、評価できる。また、WFPの強みである人道支援物資の物流サービスの提供は、人道支援機関の活動の足腰を支える重要な役割を果たした。</p> <p>WFPは、大規模災害の発生時に迅速に被災地に応援要員を派遣するなど、災害規模に応じた柔軟な人員配置・事務所の開設・閉鎖を実施しており、効果的な支援実施のための組織改革に努めている。</p> | | | | | |